

マスターフロー[®] 870 グラウト (Yタイプ)

MASTERFLOW[®] 870 GROUT (Y TYPE)

非金属骨材系無収縮グラウト材料

マスターフロー 870 グラウト (Yタイプ) は、注入間隙が 10～30mm の施工箇所用の注入グラウト材として開発された製品で、必要成分があらかじめ調整混合されたプレミックスタイプの非金属系無収縮グラウト材料です。

特長

1. マスターフロー 870 グラウト (Yタイプ) は、注入間隙が 10～30mm の施工箇所でも容易に充填できます。
2. 所定のコンシステンシーの範囲で練混ぜたグラウトは、材料分離やブリーディングがなく、安定した無収縮性を示します。
3. 初期強度、長期強度とも安定した高強度を発現します。
4. 乾湿の繰り返し、温度変化あるいは凍結融解等の環境条件に対して、長期間にわたって安定した耐久性を示します。

用途

注入間隙が 10～30mm の注入箇所の充填材

仕様

1m ³ 当りの標準使用量 (kg)	使用水量 (ℓ/袋)	コンシステンシーの範囲 (J14ポート流下時間)	練上り温度範囲 (°C)	可使時間 (20°C)
1,875 (25kg×75袋)	4.2～4.8	5～11秒	10～35	約30分

使用方法

1. マスターフロー 870 グラウト (Yタイプ) は、プレミックスタイプの製品なので、使用時には所定の練混ぜ水のみを加えて、ミキサで均一に練混ぜてから使用してください。
2. 使用水量は、材料温度、気温およびミキサの性能等によって多少左右されます。注入施工に適した軟度のグラウトを得るには 1 袋当たり 4.2～4.8ℓ の範囲で練混ぜ水を使用してください。
3. 1 袋当たりの練上り量は約 13ℓ で、1m³ 当たりの標準的な使用量は 1,875kg (25kg × 75 袋) になります。

物性試験結果例

使用水量 (ℓ/袋)	コンシステンシー (秒)	練上り温度 (℃)	養生温度 (℃)	ブリーディング率 (%)	凝結時間(時一分)	
					始 発	終 結
4.5	6.0	20.0	5	0	10-30	14-00
			20	0	5-15	6-30
			30	0	3-55	4-40

膨張収縮率 (%)				圧縮強度 (N/mm ²)			
1日	3日	7日	28日	1日	3日	7日	28日
+0.10	+0.10	+0.10	+0.10	2.4	20.5	39.8	52.6
+0.36	+0.36	+0.36	+0.36	18.7	32.7	42.0	54.2
+0.40	+0.40	+0.40	+0.40	26.5	38.8	46.2	55.4

注)

- 1) コンシステンシー試験：上端70mm、下端14mm、長さ395mmのJ ロートを用い、土木学会基準「コンシステンシー試験方法」に準じた。
- 2) ブリーディング試験：JIS A1123「コンクリートのブリーディング試験方法」に準じた。
- 3) 凝結時間試験：JIS A6204「コンクリート用化学混和剤」(附属書1.凝結試験方法)に準じた。
- 4) 膨張収縮試験：土木学会「膨張コンクリート設計施工指針(案)」(附属書、膨張材を用いた充填モルタルの膨張収縮試験方法)による。
- 5) 圧縮強度試験：径5cmx高さ10cmの円柱供試体を用い、JIS A1108「コンクリートの圧縮強度試験方法」に準じた。

使用及び取扱上の注意事項

1. 本品は吸湿性を有する粉末品ですのでセメントと同様に取扱い、袋単位で使用し、破袋または一度開封して放置された製品は使用しないでください。
2. 練混ぜ水は飲料水またはこれに準ずるものを使用し、使用水量は試験練りを行って決定してください。
3. 練混ぜには、アルミ製の器具を使用しないでください。
4. 本品は水や汗・涙等の水分と接触すると強いアルカリ性になり、皮膚、目、呼吸器等を刺激したり、粘膜に炎症を起こすことがあります。
5. 取り扱いに当たっては防塵マスク、保護メガネ、ゴム手袋等の保護具を着用してください。
6. 目に入った場合は、速やかに清浄な水で十分洗眼した後、専門医の診察を受けてください。
7. 皮膚に付着した場合は、速やかに水で洗い流し、必要に応じて専門医の診察を受けてください。
8. 飲み込んだ場合は、多量の水を飲ませ、吐かせた後、専門医の診断を受けてください。

包装形態

25kg防湿袋詰

※本商品についてのお問い合わせは、本社建材営業部または最寄りの支店・営業所までご連絡ください。

BASF ポゾリス株式会社

本 社 東京都港区六本木6丁目10番1号 混和剤営業部 TEL 03-3796-9870 FAX 03-3796-9980
六本木ヒルズ森タワー 21階 建材営業部 TEL 03-3796-9850 FAX 03-3796-9980

仙台支店 TEL 022-224-1631 FAX 022-224-1634 大阪支店 TEL 06-4964-7240 FAX 06-4964-7244
東京支店 TEL 03-3796-9900 FAX 03-3796-9960 福岡支店 TEL 092-481-1271 FAX 092-481-1273
名古屋支店 TEL 052-220-1113 FAX 052-220-1713

札幌営業所 TEL 0123-88-1245 FAX 0123-88-1061 横浜営業所 TEL 045-211-0485 FAX 045-211-0487
宇都宮営業所 TEL 028-621-5261 FAX 028-621-5263 静岡営業所 TEL 054-254-2514 FAX 054-254-2515
千葉営業所 TEL 043-266-6181 FAX 043-266-6183 広島営業所 TEL 082-543-2520 FAX 082-543-2505
上越営業所 TEL 025-524-1777 FAX 025-524-3852 高松営業所 TEL 087-833-0271 FAX 087-833-0218
(松本全沢事務所) 鹿児島営業所 TEL 099-263-8740 FAX 099-263-8741

www.pozzolite.basf.co.jp

●ロゴ・マークならびに弊社の混和剤・床材・グラウト材・補修材をはじめとする各種建設材料の商品名に®マークを付記したものは、BASF社の登録商標です。

●ここに記載された事項は、標準的な試験法に準拠した弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

●方角、本資料に提示する以外の方法や分野で本商品をご使用頂く場合には、ご使用者側にて調査検討下さいませようお願い致します。

●本記載事項は、新しい知見により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

●BASFポゾリス株式会社は開発・技術センターと茅ヶ崎工場及び堺製造センターでISO9001を、また開発・技術センターと茅ヶ崎工場においてISO14001を審査登録しています。

